

一般質問





# 政権交代への対応は 丹政クラブ 外田 誠 議員

問 第45回総選挙では、民主党が308議席を得て政権交代が実現した。地方の疲弊と格差拡大をもたらした小泉政治の総括もないまま、世代を行なうなど、国民不在の政治を進めてきた自民党への不満が、今日の結果をもたらしたものと考える。

立の政治への転換を意味する。国民が変革を望んだ選挙結果をどう総括されるのか、また、政権交代にどう対応するのか。

**市長** 選挙結果は民意であり重く受け止める。理事者、職員は意識改革をし、時代の変革に十分対応できるよう努力していく。

**支所の体制は**

**参与制度廃止後の**

月をもつて廃止される予定である。



# 選挙結果を受け 今後の行政執行は 行政推進に変更はない

問 総選挙の結果、自民・公明与党は惨敗を喫した。

日本共産党は、自公政権と対決し「自公政権を退場させよう」と訴え続けてきただけに、有権者が下したこの審判を日本の政治にとって大きな前向きの一歩として歓迎する。

この間、小泉内閣が強行してきた「構造改革路線」は、すべての分野でくらしを破壊した。「使い捨て」の不安定

雇用が広がり、年間収入が2百万円にも満たない「働く貧困者」が増えた。「人間はモノではない」「若者から夢と希望を奪う社会でいいのか」と、切実な声が沸き起つた。

社会保障予算を削減してきた結果、医療も年金も介護も深刻な危機にさらされ、医療難民、介護難民などといわれるような事態にまで広がった。「こんなひどい政治はもうごめんだ」という、国

民の「こうこうたる声が、自公政権を退場させた原動力だったことは疑う余地がない。新しい政権は、この国民の声を的確にとらまえ、それに応えていくことが求められている。以上のことをふまえ、以下市長の見解を聞く。

一点目に、京都4区で選、市唯一の議席であつた自民党現職も惨敗した。市長は選挙結果をどう

A cluster of eight orange maple leaves of various sizes, arranged in a loose, overlapping pile.

# 佐々木市長にまちづくりを問う 一般質問

## 参与退任後の 支所機能の強化を

**市長** 支所の役職など検討を続いている

## アマ無線クラブと 災害時の協定を

**市長** 防災体制の確立のために努力する

問 大災害発生時には携帯電話や、防災行政無線の基地局の倒壊などにより通信・連絡手段が限られてくることが想定される。市内にあるアマチュア無線のクラブなどの協力を求め協定を結ぶべきでは。

**市長** アマチュア無線の重要性は認識しております連携を組まなければならぬと考へてゐる。防災体制の確立に向けさらに努力する。

**生産森林組合の指導・育成を**

**問** 生産森林組合の経営は大変厳しく存続すら危ぶまれる組合もある。地縁団体などへの移行手続きの助言や手助けを行政としてできないか。また、法人税の減免はできないか。

**市長** 移行手続きの助言などは責務と考えている。減免は税法上無理である。

**問** 国や府は、過疎高齢化地域のための地域マネジメント法人の創設の動

**地域マネジメント法人は  
地域の有限会社で**

きがあるか 美山地域には旧ＪＡの支所を活用し、住民生活に密着した住民出資による當利目的だけでなく、地域活動を支援する有限会社がある。新たに法人を立ち上げずに、これらの会社を活用し地域振興を図るべきではないか。

や  
幼・保・小学校なし  
の遊具の点検は、どの程度の頻度で行われているのか、また、点検は専門業者に委託されているのか。  
**市長** 市の管理する施設は14カ所あり、職員が3ヵ月ごとに点検を行っている。  
**教育長** 年1回の点検を専門業者に委託している。また、毎月教員が目視で点検を行っている。

**9月定例会では、  
15人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要是次のとおりです。**



一  
投質問